

# 「女性ができる防災活動」 ～安全で楽しいまちづくりのために～



愛知県 西尾市婦人消防クラブ  
副部長 尾崎 百合江

## 1 私たちの街「にしお」

わが愛知県西尾市は人口17万人、三河湾の真ん中辺りに位置しており山も里も海もある自然豊かな歴史と文化の薫る街です。平成23年の市町村合併により1市3町が一つになりましたが、防災に関する考え方等は中々足並みがそろわない状態です。私達に出来る事は何か、無い知恵を絞りだし活動する毎日です。

## 2 西尾市婦人消防クラブの成り立ち

私達のクラブは平成5年に吉良町婦人消防クラブとして設立され吉良町女性の会に属しています。6年前の合併により西尾市婦人消防クラブとなりました。以前は行政と密着した組織でしたが今は地域にとらわれない自由会員で成り立っており、西尾市以外の方でも会員となる事ができます。クラブ内は非常食などについて考えるレシピ班、備蓄品や防災グッズを考えるグッズ班、そして様々な活動を企画する計画班の三つに分かれています。



組織図

## 3 活動紹介

### (1) レシピ班

ここ数年皆さんご存知のポリ袋炊飯に焦点をあててきました。利点はどこの家庭にもある材料で鍋が汚れず、皿や洗水も不要で繰り返し湯が利用できます。また同時に異なるメニューを調理でき同じ量を配布できる上、腐りにくく、いい事づくめです。

そんな中昨年は、即席カップ麺がお湯なしで有効利用できる提案がされていると聞き、早速実験してみました。常温水は勿論、お茶や豆乳でもおいしく頂きました。お湯で作れば麺はのびてしまいましたが、常温調理では伸びにくい事が発見でした。非常時にはとても役立つ知識です。

### (2) グッズ班

物作りの得意なメンバーが色々な防災グッズを作成しています。「多目的防災頭巾」やフェイスタオルで作った「抱っこひも」車の中の備蓄品を整頓できる「カーシートエプロン」は普段シートカバーとして使用し、いざという時は外してベストとして着用できるよう工夫しました。その他トイレ用品など数々ありますが、自慢の品は、「多機能ベスト」です。お年寄りや体の不自由な方、幼児などリュックを背負いにくい人は避難用品をベストに装備すれば移動しやすくなります。Aタイプはたくさんのポケットや装着金具



多機能ベストAタイプ

を付けてあり特徴は背後に取り付けたフリースのひざ掛けです。二枚のひざ掛けが部分的に縫い合わせてあるので防寒着にもなります。またベストとマジックテープで接着できるのでマキシ風になり足元まで暖かく、寝袋としても使えます。Bタイプは背中に大きなポケットと内側にもさらに大きなポケットがありA4サイズ書類もすっぽりと納まります。また黒い巾着が取り外せるのも便利です。その他にも色々なタイプがあり紹介しきれないのが残念です。

### (3) 計画班

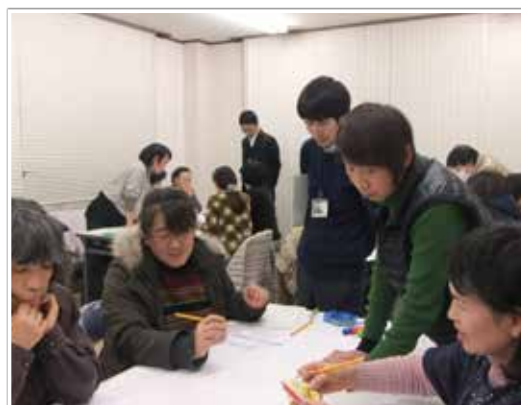
各行事の企画をして事前準備と参加者全員の共通理解をはかり組織を効率よく動かすために打ち合わせを重ねて係分担当表や配置図、タイムスケジュール表をつくり、当日の行動の徹底を図るのが計画班の役目です。昨年は避難所運営ゲーム（HUG）を皆さんに体験していただこうと思い、オリジナルのHUGカードを作ることから始めました。災害設定を何種類か考え自分たちで体験しカードの改良やゲームの進行方法を議論しました。地域の皆さんに体験していただいた所、反応がとてよくて防災意識の向上に繋がりが地域力の向上にも役立ちました。



多機能ベストBタイプ

## 4 今後できる事は何か

私達の地域でも南海トラフ地震を想定した防災対策は大きな課題となっています。女性の視点で防災を考え、それぞれの情報を共有し、良いものは地域の方々に広めていきたいと思えます。これからも益々行政や地域との連携を図り、自助、互助、共助、公助の防災協働社会の形成につながる一助となるよう頑張っていきたいと思えます。



HUG体験講座